

# 令和4年度外部評価 事業評価シート

No	8	事業名	健康増進事業(ヤング健診)
----	---	-----	---------------

別紙 2

所属	国保年金課国保係	事業開始年度	平成26年度
事業内容	20歳～39歳の被保険者等を対象として、特定健康診査に準じた健診を実施しています。 具体的内容 診察、身体計測(身長、体重、腹囲、BMI)、尿検査(糖、蛋白)、血圧測定、血液検査(脂質、肝機能、血糖、腎機能、貧血) 【実施体制】国保年金課、健康推進課		
目的	若いうちから健診受診の習慣をつくることで将来の特定健康診査の受診につなげるとともに、生活習慣病リスクを早期に発見するために実施しています。		
根拠法令等	第2期安城市国民健康保険データヘルス計画、健康診査及びがん検診実施要領		
総合計画	健康(1健康・医療(3)健康管理の支援)		
関連するSDGsゴール	3すべての人に健康と福祉を		
関連事業	・特定健康診査事業 ※40歳以上の被保険者を対象とした健診 ・早期介入健診事業【ICTを活用した検査】 ※20歳～39歳の被保険者を対象とした健診で、ヤング健診未受診者が利用できる検査		

## 【実施状況】

活動実績	令和3年度	【実施期間】令和3年5月1日～令和4年2月28日 【実施体制】委託医療機関個別受診方式 指定実施医療機関数 市内51機関 【健診内容】診察、身体計測(身長、体重、腹囲、BMI)、尿検査(糖、蛋白)、血圧測定、血液検査(脂質、肝機能、血糖、腎機能、貧血) 【自己負担額】500円 【対象者数】4,258人 【受診者数】268人 【受診率(目標値)】 10.2% 【受診率(実績値)】 6.3% 【実施方法】 ・受診券を送付(4月) ・国保加入時にチラシ配布 ・市ウェブサイトでの周知 ・ICTを活用した検査案内を兼ねた未受診者への受診勧奨 ・健診受診者に健診結果の見方や健康づくりの情報冊子、相談事業チラシ等を送付
	令和2年度	【対象者数】 4,485人 【受診者数】 280人 【受診率(目標値)】9.8% 【受診率(実績値)】6.2%
	令和元年度	【対象者数】 4,594人 【受診者数】 311人 【受診率(目標値)】9.4% 【受診率(実績値)】6.8%
	改善取組 (これまでの改善内容)	・指定実施医療機関を増やすための働きかけ ・ICTを活用した検査案内を兼ねた未受診者への受診勧奨の開始

## 【事業費】

年間事業費等の推移	No	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
			(千円)	(千円)	(千円)
事業費内訳	①	事業費(決算額)	3,053	2,823	2,717
		ヤング健診委託料	3,053	2,823	2,717
財源内訳	②	人件費(従事職員数×6,300千円 令和3年度からは6,600千円)	63	63	66
		従事職員数(人)	0.01	0.01	0.01
	③	総事業費(①+②)	3,116	2,886	2,783
財源内訳		一般財源(千円)	3,116	2,886	2,783
		特定財源(千円)			
		財源合計(千円)	3,116	2,886	2,783

## 【活動指標】

	令和3年度 (実績)	令和4年度 (目標)	令和5年度 (目標)
国保加入者のヤング健診受診率	6.3%	10.6%	11.0%

## 【成果指標】

	令和3年度 (実績)	令和4年度 (目標)	令和5年度 (目標)
特定健康診査40～44歳受診率	(目標値) 26.5%	27.0%	27.5%

## 【課題】

課題	活動実績・事業成果等を踏まえて記入 疾病を予防していくためには、自身の健康状態を把握することが第一歩で、健康診断は有効な手段の1つです。若年層を対象とした健康診断の過去3年間の受診率は年々下がる傾向にあり、目標値を下回っている状況となっております。受診率の低下とその原因を把握できていないことが課題となっております。
----	---

## 【論点】

外部評価での論点	未受診者の多くは、健康状態に不安が無い者と考えられるため、若い世代から健康に関する興味がある人を増やすよう、生活習慣病予防の大切さについて今まで以上に積極的に啓発していく必要があると考えます。具体的には、未受診者への勧奨通知(ICTを活用した検査案内を兼ねる)にナッジ理論(※)等を取入れ、対象者の行動変容を促すようなデザインの採用や、複数の広報媒体を活用した周知をしていくことを検討しています。 また、アンケート調査を実施するなどヤング健診を受けない理由について分析を深めていくことを検討しています。 ※ナッジ理論とは(nudge: そつと後押しする)、人の行動心理を踏まえ、より良い選択を行うように情報発信や選択肢の提示を工夫する手法のことです。
----------	---

# 令和4年度外部評価 事業評価シート

## 【参考比較】

安城市	H30年度 (上段:実績値) (下段:目標値)	R1年度 (上段:実績値) (下段:目標値)	R2年度 (上段:実績値) (下段:目標値)	R3年度 (上段:実績値) (下段:目標値)
対象者数	5,137人	4,594人	4,485人	4,258人
受診者数	430人	311人	280人	269人
受診率	8.4%	6.8%	6.2%	6.3%
	9%以上	9.4%以上	9.8%以上	10.2%以上
特定健康診査 40～44歳受診率	22.0% (法定報告値)	23.5% (法定報告値)	20.5% (法定報告値)	-
	25%以上	25.5%以上	26%以上	26.5%以上

  

ヤング健診受診率・年齢別（5歳ごと）

受診率は20歳代よりも30歳代の方が高い傾向にあります。

受診率、特定健康診査40～44歳受診率ともに、令和2年度に減少していますが、新型コロナウイルス感染症予防のための緊急事態宣言が度々発出された影響で、健診に行きたくても受診を控えた方が多かったのではないかと考えられます。

岡崎市	R1年度 (実績値)	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)
対象者数	5,721人	5,498人	5,202人
受診者数	759人	574人	651人
受診率	13.3%	10.4%	12.5%

※岡崎市:国保加入者の30歳代の数値

ヤング健診は、40歳以上の被保険者を対象とした特定健康診査とは異なり、全国一律に実施されている事業ではないため、参考となる自治体がありませんでしたが、類似の取組を実施しており対象者数等聞き取りできた市のうち、岡崎市の状況を記載しています。

**【類似の取組内容】**  
 岡崎市:30歳代健康診査(国保加入者対象)  
 一宮市:30歳代の人間ドック(国保加入者対象)  
 大府市:39歳以下の者への健康診査(市民対象)

経年の状況等

他市の  
実施状況等